

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和6年9月19日(2024.9.19)

【公開番号】特開2024-61833(P2024-61833A)

【公開日】令和6年5月8日(2024.5.8)

【年通号数】公開公報(特許)2024-083

【出願番号】特願2024-39619(P2024-39619)

【国際特許分類】

F 16 L 23/08 (2006.01)

10

【F I】

F 16 L 23/08

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月10日(2024.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

管端部の環状のフランジ部を互いに突き合わせた2本の管と、
前記両フランジ部を外周側から覆う第1、第2の分割体と、を備え、
前記第2の分割体には、径方向に突出する係合突起が設けられ、
前記第1の分割体には、前記係合突起が係合する係合穴が形成されている、
配管構造。

【請求項2】

請求項1に記載の配管構造であって、
前記各フランジ部が突き合わせ面の反対側にテープ面を有し、
前記第1、第2の分割体には、前記両フランジ部のテープ面が当接するテープ面が形成
されている、配管構造。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の配管構造であって、
前記係合穴が、前記係合突起を収容する主穴部と、この主穴部に連なる逃がし凹部とを
含む、配管構造。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の配管構造であって、
前記係合穴における前記第2の分割体とは反対側には傾斜面が形成されている、配管構
造。

【請求項5】

請求項1又は2に記載の配管構造であって、
前記第1、第2の分割体が、前記管と直交方向に延びるボルトにより締結されている、
配管構造。

30

40

50